

日本共産党
いとろう

伊藤りち子



コロナ禍や物価の高騰で、いまでさえ道民のくらしが大変なのに、大軍拡は絶対に許せません。オリンピックの招致に税金を使うべきではありません。

私は札幌市議16年、市民に寄りそい、暮らしや仕事の相談にのり、切実な願いを市政に届けてきました。市議会建設委員長や日本共産党市議団長の経験を生かし、こんどは道議会で、道民のいのち・くらし・平和をまもるために全力をつくします。みなさまのお力で、私、伊藤りち子を道議会で押しあげてください。

人ごやとく豊かな北海道へ

こんどは

最優先の道政を

道議会で

札幌市議16年の働き

- 物価高・コロナ禍のもと、いのちやくらしを支えます
賃金の大幅引き上げ、消費税5%へ引き下げ、インボイスの中止、中小企業支援
- 戦争準備につながる自衛隊への個人情報提供はやめよ
- 2030冬季五輪の招致は中止を
- 地域医療と福祉・教育をまもる
子どもの医療費、道と市で高校卒業まで無料に。国保料の引き下げ。医療・介護・教育の充実を
- LGBTQの差別許さず、ジェンダー平等へ
パートナーシップ制度と、同性婚・選択的夫婦別姓の実現
- 地球環境にやさしく災害に強い北海道を
原発再稼働反対、核のゴミはいらない
- 酪農存続の危機打開
際限なくつづく輸入自由化から転換、飼料・生産資材の高騰に道の直接支援を
- 道内鉄道の維持存続
「住民の足」を確保・存続し、北海道の物流・経済を支える



岸田大軍拡・大増税反対！ 「平和」が私の原点

私の政治活動の原点は「平和」。母から戦死した叔父の話聞いたからです。届いた「遺骨箱」には「たった一つの小石」だけ。「戦争は人の命を奪い、家族をばらばらにする、絶対にくりかえしてはならない」という言葉にウクライナの戦争が重なります。戦争反対。憲法9条を生かした、平和を守る道政へ力をつくします。

いのち

くらし

平和

プロフィール

1961年 白石区生まれ
1982年 函館大谷女子短期大学付設幼稚園教諭・
保母養成所卒
1982年 白石区で保育士
1997年 白石区議員事務所勤務
2003年 札幌市議会議員(4期16年)
2019年 党白石区道政対策委員長
(家族) 夫、子ども二人

